

I 脱炭素エネルギーの安定的な供給体制の構築

1 風力発電関連産業の総合拠点化



◆ グリーンエネルギーポートひびき事業 (再掲)

2011年、響灘地区の臨海部に、風力発電の関連産業を集積させることを目的とした「グリーンエネルギーポートひびき」事業を立ち上げました。

本事業の目標は、「風車の積出し拠点」、「風車部品の輸出入・移出入拠点」、「風車の運転管理やメンテナンスを行うO&M拠点」、さらに「風車の関連部品を製造する産業拠点」の4つの拠点機能を有する「風力発電関連産業の総合拠点の形成」です。

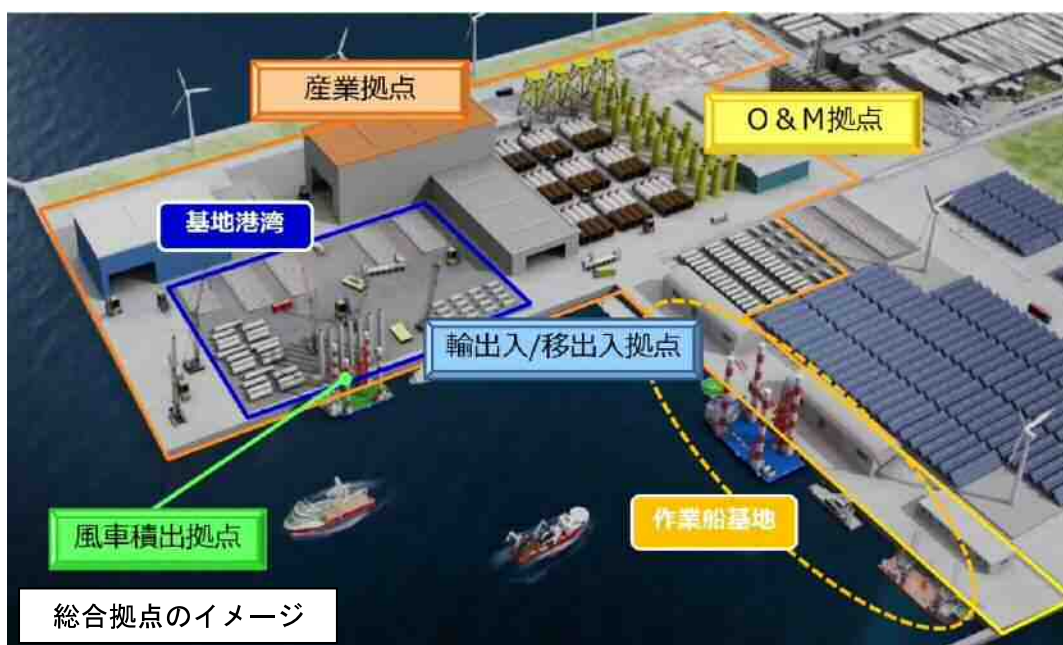
本事業は、3つのフェーズに分け段階的に進めています。

- (1) 響灘地区に風車の実証事業などを誘致する第1フェーズ
- (2) 響灘に大規模な洋上風力発電事業を誘致する第2フェーズ
- (3) 拠点形成に向け産業集積や市場開拓等を実施する第3フェーズ

第1フェーズについて、2013年に、風車の実証事業を公募し、その結果、「3.3メガワット級の風車2基」「5メガワット級の風車1基」「風車のメンテナンスのための倉庫兼トレーニングセンター」の誘致に成功しました。現在いずれも順調に運営されています。

第2フェーズについて、2014年に、わが国初の洋上ウインドファームを響灘の港湾区域内に誘致するための取組に着手しました。その後、2016年に事業者の公募を行い、翌2017年に、ひびきウインドエナジー社を事業者として採択しました。同社は、2023年3月に工事を開始し、2025年度中の運転開始に向けて、着実に事業を進めています。

第3フェーズについては、本事業の目標である「総合拠点の形成」に向け、現在、まず基盤づくりとして基地港湾の整備に取り組んでいます。さらに、産業拠点づくりとして、響灘地区への産業集積や、西日本地区におけるウインドファームの市場開拓などを進めています。



詳細：北九州市ホームページ

「グリーンエネルギーポートひびき事業」

→ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kou-ku/30300033.html>

「海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾（基地港湾）の指定について」

→ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kou-ku/30300034.html>

【問い合わせ先：港湾空港局エネルギー産業拠点化推進課 TEL 582-2994】

Ⅱ 市民・企業との連携による循環システムの構築

1 世界をリードする再生可能エネルギー拠点の形成

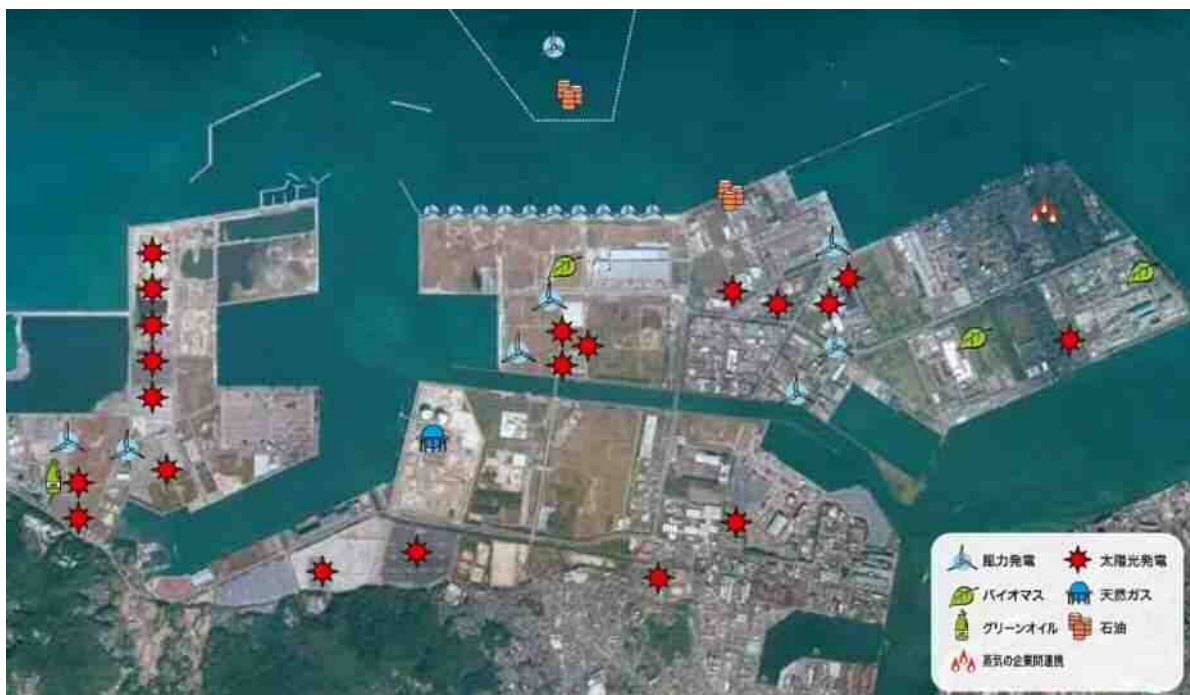


◆ 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業（再掲）

響灘地区における再生可能エネルギー（風力発電、太陽光発電）などの立地ポテンシャルの高さ、加えてスマートコミュニティの実証を通じたエネルギーを賢く使う省エネの知見などを活かし、地域の成長を支えるとともに、脱炭素で安定したエネルギーを供給することを目指します。

また、平成27年12月には、北九州市と民間企業の共同出資により、地域エネルギー会社「株式会社北九州パワー」が設立され、市内で発電された脱炭素電力を市内施設に供給しています。

事業の開始時は低炭素でしたが、令和2年10月29日に本市として「カーボンゼロシティ」を宣言して以降、脱炭素に向けた取組を開始しています。



詳細：北九州市ホームページ

「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」 <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/00200086.html>

「北九州市のエネルギーマップ」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/file_0355.html

【問い合わせ先：環境局再生可能エネルギー導入推進課 TEL 582-2238】



2 響灘エコフロンティアパークにおけるまちづくり



《響灘エコフロンティアパーク》

「低炭素（次世代エネルギーパーク）」「資源循環（エコタウン）」「自然共生（緑の回廊・ビオトープ）」の3要素が結合した新しい産業システムが成立するまちを目指し、エネルギーや資源の効率的利用、再生可能エネルギーの導入等を一体的に進め、エネルギー消費量、温室効果ガスの排出及び廃棄物発生が最小となるよう取り組みます。



詳細：響灘エコフロンティアパークホームページ → <http://www.ecofrontier.jp/>

◆ 次世代エネルギーパーク（低炭素）



太陽光や風力などの新エネルギーを実際に見て触れる機会を増やし、理解を深めてもらうための取組です。エネルギー供給基地や、次世代エネルギーパークを担う太陽光・風力等の自然エネルギーやバイオマスエネルギーのほか、エネルギーの企業間連携や革新技術の研究のことなど、様々なエネルギーの取組について学ぶことができます。

詳細：次世代エネルギーパークホームページ

→ <https://www.kitaq-ecotown.com/enepa/>

【問い合わせ先：環境局再生可能エネルギー導入推進課 TEL 582-2238】

◆ 北九州エコタウン事業（資源循環）



あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、可能な限り廃棄物をゼロに近づける「ゼロ・エミッション」を目指した、循環型社会の構築を図る先駆的な取組です。市民をはじめ、国内外から毎年、約10万人の見学者が訪れており、工場やエコタウンセンターの見学を通じて、リサイクル事業に対する理解を深めています。

詳細：北九州エコタウン事業

→ <https://www.kitaq-ecotown.com/>

【問い合わせ先：環境局環境イノベーション支援課 TEL 582-2630】

◆ 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創生事業（自然共生）



響灘埋立地において、産業と自然が調和した魅力ある地域づくりを目指すものです。市民が自然とふれあいながら生物多様性の重要性や生態系の仕組みを学べる自然環境学習拠点として、平成24年10月に響灘ビオトープがオープンしました。

参考：響灘ビオトープホームページ

→ <http://www.hibikinadabiotope.com/>

【問い合わせ先：環境局環境監視課 TEL 582-2239】

3 企業と連携した脱炭素社会づくり



◆ 道路照明のLED化

脱炭素社会づくりに向けた取組の一環として、若松区における道路照明灯LED化整備計画に基づき、令和7年度を目標に、主要幹線道路や地域の中心地区、学校周辺などで、順次LED化を進めています。

詳細：北九州市ホームページ「LED道路照明」

→ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/05500000.html>

【問い合わせ先:まちづくり整備課 TEL 761-5326】

